

研修責任者等研修事業 都道府県名（秋 田 県）
（実地指導者研修）

I. 研修の開催に関すること

1. 研修開催場所の箇所数 （ 3 ）
2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと

相当数の応募者が見込まれたため、交通の便や地域など考慮し県内で分散して会場を設けた。養成研修については県北・中央地区の受講者向け1カ所、県南地区の受講者向け1カ所の計2カ所で開催した。また、フォローアップ研修は当初衛生看護学院研修室で開催予定であったが、応募者が多数であったため、設備が整い、演習形態に適していることを考慮し、会場を変更した。

3. 研修開催回数 延べ（ 3 ）

II. 研修受講者に関すること

1. 研修受講者数等(実人員)
（開催回別に記入してください）

開催回	応募者数	受講者数
第1回	（ 87 ）名	（ 66 ）名
第2回	（ 41 ）名	（ 41 ）名
第3回	（ 34 ）名	（ 34 ）名

※ 必要な場合、行を追加してご記入ください

2. 研修受講者の所属施設

施設種別	応募者数	受講者数
病院	（162）名	（141）名
診療所	（ 0 ）名	（ 0 ）名
助産所	（ 0 ）名	（ 0 ）名
介護老人保健施設	（ 0 ）名	（ 0 ）名
指定訪問看護事業所	（ 0 ）名	（ 0 ）名
その他 （ ）	（ ）名	（ ）名

3. 研修受講者のうち、病院の場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	3
100～200未満	34
200～400未満	33
400床以上	71

4. 研修受講者の職位

職位	人数
看護部長	()名
看護副部長	()名
師長	()名
係長・主任	(1)名
スタッフ	(140)名
その他	()名

※ 職位が貴県での区分と異なる場合には、貴県での区分に変更したうえで、ご記入ください

5. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

<プリセプター養成研修>

次の①～③をすべて満たす方

①来年度、プリセプターの任につく予定の方

②看護職員(保健師・助産師・看護師)としての実務経験が、現時点で1年6か月以上10年未満であること。

③連続した2日間のすべてに参加できること

<プリセプターフォローアップ研修>

現在プリセプターとして新人教育に関わっている看護職員

6. 事業の周知及び参加者募集方法(ご自由にご記入ください)

秋田県内すべての病院(病院長・看護管理者あて)に開催通知を郵送した。

Ⅲ. 研修内容に関すること

1. 受講形式

- A 全日程を受講することを基本としたコース形式
 B 講義毎に部分的に受講する形式

2. 研修プログラム

時期 (月)	研修テーマ	時間数	研修内容・方法
9月	プリセプター フォローアップ 研修	5	1. プリセプターの機能と役割 2. 新人看護師の学習への効果的なサポート方法 講義と演習
1月	プリセプター養成 研修	10.5	1. 新人看護師の特性について 2. 新人看護師教育の現状と課題 3. プリセプターシップについての基礎知識 4. プリセプターの役割と機能
2月	プリセプター養成 研修	10.5	5. プリセプターに必要なコミュニケーションスキルの実践 講義と演習

※ 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

※ 時期には実施月をご記入ください。

3. 講師数(実人員)

看護職員： ①看護教員(講師、教授など大学の教員も含む) ()名
 ②臨床現場の看護職員 看護部長、副看護部長、看護師長 ()名
 施設の教育担当者(教育責任者等) ()名
 専門看護師・認定看護師 ()名
 その他 ()名

その他の職種： 職種等(看護コンサルタント) (1名(延べ5日間))名

職種等() ()名

職種等() ()名

4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

① プリセプターフォローアップ研修 (1)日 (5)時間

② プリセプター養成研修 (2)日 (10.5)時間

5. 4. の内訳 講義 (①3.5 ②6.5)時間 演習 (①1.5 ②4)時間

その他 () ()時間 オリエンテーション ()時間

IV. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

・過去の応募状況を踏まえ、今年度はプリセプター養成研修を2回開催した。2回の開催場所を秋田市と横手市とすることで受講しやすいよう配慮する。
・プリセプター養成研修だけではなく、その後のフォローアップも必要と考え、1日間のフォローアップ研修を開催する。
・対象が少ないため病院単独で実施するのは難しいと思われる演習などを積極的に取り入れた研修にする

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

・開催場所を2カ所にする事で、遠方からの受講生にとっては利便性がよく、多数の応募につながった。
・秋田市の会場への応募が多いことは予測できたが、会場の収容人数の問題から、横手市の会場に変更してもらった受講生もいたため、秋田市の会場は収容人数に余裕のある場所を選ぶことが必要であった。
・フォローアップ研修は養成研修を受講すべき対象からの応募もあり、研修計画を明確に通知する必要があった。
・研修後にアンケート評価を行っているが、研修内容・講師含め、全体的に満足しているという結果が得られた。

V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託 A 委託していない B 委託している 委託先()